

令和6年度「若年技能者人材育成支援等事業」推進計画

兵庫県技能振興コーナー
(兵庫県職業能力開発協会)

平成25年度に創設された本事業を、過去11年度にわたり受託実施してきたノウハウを活かし、令和6年度も兵庫県をはじめ、各行政機関や関係団体との連携をより一層密なものとし、就学生をはじめとする若年層へ、「ものづくりの魅力」を発信するとともに、「ものづくり産業」を目指していただけるよう、次のとおり事業を推進する。

I 地域における技能振興事業

1 技能五輪全国大会の予選の実施等

- (1) 予選実施職種を拡大する。
- (2) 技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加を支援する。

II ものづくりマイスター事業

1 「ものづくりマイスター等」の開拓

- (1) 対象業種の企業・業界団体や職種別技能者団体へ働きかけてマイスター制度の周知と熟練技能者の発掘

- ① 文書、メール、ホームページ等による広範な情報発信
- ② 当協会が保有するネットワークを活用した潜在熟練技能者の掘り起こし
(特に未認定職種の掘り起こしに重点を置き、指導範囲の裾野を広げる)
- ③ 「ひょうごの匠」、「神戸マイスター」等、既設人材登録者への個別対応

- (2) 若年技能者の人材育成に係る相談・援助

- ① 技能競技大会活用による人材育成に関心のある企業に対する「ものづくりマイスター」の助言等も加えた人材育成プランの作成支援
- ② 「中小企業支援ネットひょうご」のネットワークを活用した事業PRと支援対象企業の掘り起こし、個別企業訪問の実施

2 「ものづくりマイスター等」に対する研修

認定されたマイスター等に対して、指導技法の習得・向上のための講習を実施する。

3 「ものづくりマイスター等」の活用

- (1) 「ものづくりマイスター等」の派遣による実技指導の実施

中小企業、工業高校等のニーズを把握しながら、派遣対象職種を拡大し、段階的かつ効果的な指導実施に取り組む。

① 中小企業

各種技能競技大会の課題や技能検定試験問題を基にした教材を使った実技指導を行い、基礎技能の拡充を図り、若年技能者の技能向上に寄与する。

② 工業高校・能力開発施設、その他

各学校、施設の年間教育・訓練カリキュラムと十分調整を図りながら、基礎技能を向上させる実技指導を展開する。

③ イベントエリアでの実演・体験の実施

・ものづくり体験コーナー等の実施

県内の多くの方々に職人や職人技の理解を深めてもらうための技能の祭典「技能グランプリ&フェスタ」（主催：兵庫県、神戸市、県技能士会、神戸市技能職連合会）会場において標記体験コーナーを開設し、ものづくり体験の機会を提供する。

・若年技能者トライアル・ワークショップの開催

県下の高等学校、職業能力開発施設等で技能向上に励む若年者が一堂に会し、共通課題による実技演習と熟練技能者の専門的アドバイスの下で、より高度な技能習得に向けた動機付けと技能向上を図るワークショップを開催する。

4 若者に対する「ものづくりの魅力」発信

(1) サポートステーションへの講師派遣

① 支援対象者に対してものづくり実演、体験を実施する。

(2) 地域の小・中学校からの要請に基づき、学校の授業等にもものづくりマイスターを派遣し、ものづくりの講話・実演・体験教室を開催する。

Ⅲ 連携会議の設置・運営

令和5年度と同様の構成団体（教育機関を含む）により、本県の特徴を活かした事業実施と進捗状況の管理を行うため、年2回の会議を開催する。